



この度は、当薬局をご利用頂きありがとうございます。
今月は『突発性難聴』についてのお話です。

◆突発性難聴とは

突発性難聴は突然に原因不明な内耳性の感音性難聴が発症する疾患です。「朝目が覚めると発症しているような突然発症する難聴」で発症は突発的です。

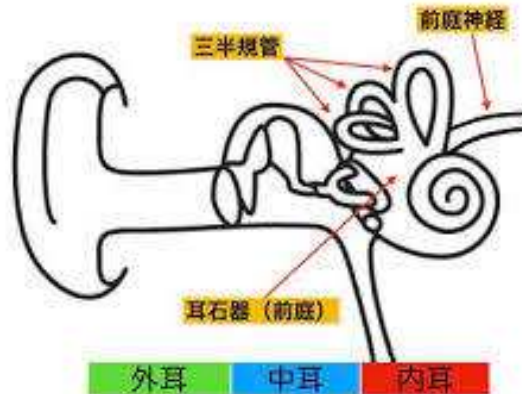


◆症状

健康で耳の病気を経験したことのない人が、突然に耳が聞こえなくなります。難聴が第一の症状であり、付随する形で耳鳴りやめまいを併発することがあります。

難聴は通常、左右いずれか片側のみです。再発はほとんどありません。難聴に加えて耳鳴りやめまいを伴うこともあります。内耳には聞こえを担当する蝸牛、身体の平衡感覚を感知する三半規管や前庭と呼ばれる構造物が存在しています。そして内耳から蝸牛神経、前庭神経がつながります。

耳鳴りは聞こえに関係する神経系の異常興奮によって生じます。そのため、難聴とともに耳鳴りを自覚することがあります。障害が強い場合、回転性または浮動性のめまいを生じることがあります。



◆原因

原因は明確になっていませんが、内耳のウイルス感染、循環障害、日常生活上のストレスなどが関与していると考えられています。

ストレスを感じると交感神経が活発化して血管が収縮します。血管が収縮すると内耳は血流不足になります。血流不足では酸素など必要な成分が十分に内耳に供給されません。そして内耳機能が悪影響を受けて突発性難聴が発症するという考えです。またストレスにより内耳障害を引き起こしうるウイルスが再活性する可能性も指摘されています。ストレスと一言に言っても残業、睡眠不足、人間関係など数多くの要素があります。またストレス度合いを数値によって明確にできないことも突発性難聴とストレスの関係性を明確にできない理由の一つです。



◆治療

聴覚の異常に気づいたら「そのうち治るだろう」と放置せず、すぐに医療機関を受診するようにしましょう。治療が遅れると、難聴や耳鳴りが残る場合があります。治療は薬によるものが主ですが、安静にして身体を休めることが大切です。ストレスや過労を取り去ることが、血液の流れをよくし、身体の免疫力を高め、症状の緩和や治療を円滑に進めることにつながります。



©石井ヘルスケアナビ

★ご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください★
町田市原町田4-2-2 メディカルスペース町田1F 042-705-7818